

移転計画白紙撤回の申し入れ

市では、印西クリーンセンター次期中間処理施設の建設予定地を千葉ニュータウン中央駅圏9住区業務施設地区内(準工業地域)へ移転する計画に対し、白紙撤回されるよう、去る11月19日に印西地区環境整備事業組合に申し入れを行いました。

●申し入れ理由

①建設予定地は、千葉ニュータウン中央駅に近く駅周辺の住宅地および商業施設、並びにオフィスビルなどが集積する地区に、ごみ処理の中核をなす中間処理施設が建設されることは、千葉ニュータウン中央駅圏におけるまちづくりの観点からふさわしくないこと。

②建設予定地は、現在地から500mしか離れてなく住民には十分な理解が得られていないこと。

③ごみ減量を図ることで施設規模の縮小が可能であること。

また、白紙撤回後の次期中間処理施設の整備・稼働までは相当の時間を要することから、現

施設の安全かつ安定したごみ処理のための対策を講じていただけでなく、財政面においては交付金の活用等のご検討をいただき、構成市町の財政負担の軽減が図られるようお願いする旨を添えております。



現在の印西クリーンセンター

なお、申し入れ書については、市のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

印西クリーン推進課クリーン推進班 (☎内線381・E-cleank a@city.inzai.lg.jp)。

平成 25 年 印西市消防出初式を開催

新春にあたり、消防職団員の士気高揚を図り、職務遂行への決意を新たにすため、下記のとおり「平成 25 年印西市消防出初式」を開催します。

- 日時…1月12日(土)・午前10時～。
- 会場…松山下公園総合体育館(浦部)。
- 消防課防炎班(☎内線453)。



平成 24 年の出初式

民生委員・児童委員に 吉谷公江氏を委嘱



平成24年12月1日付で、民生委員・児童委員に吉谷公江氏(写真)が委嘱されました(敬称略)。

◆民生委員・児童委員
●大森・永治地区：吉谷公江(発作上・発作下担当)。

民生委員・児童委員は地域社会の福祉増進を図るため、地区に配置されており、地域で最も身近な相談・支援者です。お気軽におたずねください。

☎ 社会福祉課厚生班(☎内線256)。

1月10日は「110番の日」

◆携帯電話からの110番はこんなことに気を付けて!

- ①現在地を確認してください(電柱の住所表示、交差点名、バス停名、大きな建物などを目印にする)。
- ②つながりにくい場合は、場所を変えて電話してください。
- ③車を運転中の場合は、必ず安全な場所に止めてから通報してください。
- ④印西警察署管内の県境付近(利根川沿い)では、隣接の茨城県警察本部につながる場合があります。この場合は、電話に出た警察官の指示に従ってください。

【各相談窓口】

●総合相談(相談サポートコーナー)

☎ 043-227-9110
短縮ダイヤル(☎#9110)

●運転免許について

- ・千葉運転免許センター(☎043-274-0111)
- ・流山運転免許センター(☎04-7144-0111)

●電話をする際のお願い

電話番号を間違えた場合は、必ず間違えた旨を教えてください。無言のまま切ると、事件発生と誤認し、警察官が出勤。その後も現場の調査をする必要が生じるため、本当に事件が起きた場合、出勤が遅れが生じる場合があります。

☎ 印西警察署(☎420110)。

献血にご協力ください

みなさんのあたたかい善意を心からお待ちしております。

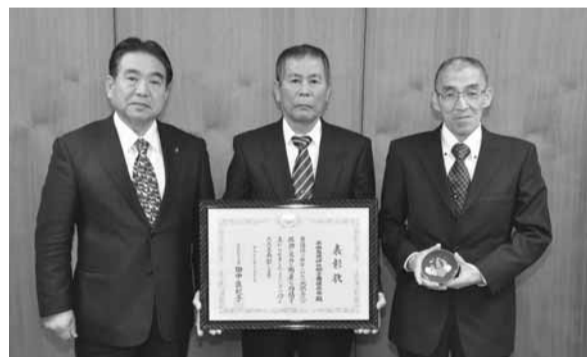
なお、日本赤十字社の製造能力を超える需要については、国の指示・指導により一部国内製薬企業が製造販売を行っています。

☎ 1月16日(水)・午前10時～11時45分、午後1時～4時。

☎ 市役所1階ロビー。

※安全な血液供給実施のため、献血条件などがあるので、お問い合わせは下記までお願いします。

☎ 健康増進課総務班(中央保健センター内・☎425595)、千葉県赤十字血液センター推進課(☎047-457-9927)。



去る11月15日、平成24年度地域文化功労者表彰式において、平岡鳥見神社獅子舞保存会が文部科学大臣から表彰されました。

▲平岡鳥見神社獅子舞保存会のみなさんと市長(左)

平岡鳥見神社獅子舞保存会が 地域文化功労者表彰を受賞

平岡鳥見神社の獅子舞は、昭和30年12月15日に千葉県の無形民俗文化財に指定され、毎年5月3日に悪魔払いと豊作を記念して行われています。

獅子舞は、シジ(親獅子)セナ(若獅子)、カカ(雌獅子)の3匹によって舞われ、「初の切」、「二の切」、「弓超えの舞」、「寝起きの舞」、「けんかの舞」、「仲直り三角の舞」で構成されています。

平岡鳥見神社獅子舞保存会は、昭和30年の設立以来、県指定無形民俗文化財「鳥見神社の獅子舞」の保存と継承に尽力し、地域の文化財保護に貢献している功績が評価され、この度の受賞となりました。

※詳しくは左記へ。
☎ 生涯学習課文化班(☎内線545・546)。



▲華やかな衣装が特徴の平岡鳥見神社の獅子舞



シリーズ・心の道標②

ボランティア上手は「生きかた上手」

☎ 社会福祉課障害福祉班(☎内線268)

表題は日野原重明・聖路加国際病院名誉院長の言葉です。人間がお互いに助け合うことの必要性や、そのために尽くすことのできる機会が自分に与えられていて、その中で「自分が成長していくんだ」という気持ちを持つような媒体として、ボランティア活動が、広がっていくことの大切さを先生は説かれています。

わたしは学生時代から、ボランティア活動を続けています。ボランティア活動は、自分が持っている弱さ、自己保身、自己絶対化を自覚した上で、それを乗り越える努力のプロセス(過程)であること。ボランティア精神には「意気負いこむ」というようなことが、ないほうがよいこと。一人ひとりにはないが、大勢集まって一つのことをしていると、集まった力が有効に働き出すこと。ボランティアの働きを高めるのは集団、グループの力であり、交わりであること。そして、ボランティアの経験は結局、自分のところに戻ってくる。生涯の生きかたの中に、他者のためという心の優しさが投影されてくること。私はボランティア活動を通して、たくさんの方の経験を学ばせて頂いております。

また「人は援助することで、最も援助を受ける」(リースマンの「援助者治療原則」)や「人は誰かを支えているとき、そこから恵みを受けていることを忘れてはならない」(石井亮一)などの言葉もあります。この恵みを実感し感謝して、ボランティア活動を続けていくことは、自分自身の成長につながっていくことと、私は考えています。

ボランティア活動では「自己満足」「思いやり」「独りよがり」「自画自賛」「親切の押し付け」など自分自身で戒めることも大切です。そしてボランティア活動は、誰かから強制されたり、義務として押し付けられるものではありませんから、肩の力を抜いてボランティア活動をしてみませんか。

著・成田地域生活支援センター 尾内保之氏(精神保健福祉士)